

発見！白井の仕事人

49

光線治療器一筋に取り組み85年

株式会社黒田製作所

今回は白井第二工業団地に工場を構える黒田製作所を紹介いたします。

黒田製作所は家庭用光線治療器「コウケントー」の製造や治療用カーボン電極の製造管理を主力業務とする企業です。

創業以来、光線治療器一筋に歩んできた老舗専門メーカーで、国内で家庭用光線治療器の分野において厚生労働省の承認を受けている企業は数社しかなく、トップリーダー企業となっております。

黒田製作所創業者の黒田保次郎さんは、明治末頃日本に伝わった太陽光線治療器に可能性を見だし、1932（昭和7）年に日本橋小網町に光線治療研究所を開設しました。



「コウケントー」製造の様子

光線治療の原理は光の力を利用して、その人が持つ治癒力・免疫力に働きかけて早期回復を期するもので、保次郎さんは体に有効な可視光線を研究し、コウケントーの前身となる「カシセントー（可視線灯）」を開発しました。

最初は墨田区鳥越で作っていましたが、1943（昭和18）年に2代目の保次郎さんが新宿区大久保に会社を設立し、製造

を始めました。これが現在の黒田製作所で、1975（昭和50）年に生産力増強のため、大久保の工場を白井工業団地へ移し現在に至ります。



コウケントー1号機

「コウケントー」治療器は、太陽光と同じ性質の光線を患部に照射することで、赤外線、可視光線、わずかな紫外線を総合して発光させて得られる光と熱により症状の回復・改善、健康維持を図る医療機器です。

家庭用といっても長期利用を前提に、伝統的な金属加工「ヘラ絞り」などの職人技で丈夫に作られており、半世紀以上も前の同社製品を今も使い続ける人がいて、メンテナンスを頼まれることもあるそうです。

また、鉄人と呼ばれるようなスポーツ選手や長年活躍している芸能人も愛用していますが、「医薬品医療機器等法」の広告規制により一般的な広告宣伝ができないことから、工場長の芝田信之さんは、販売を主にユーザーの口コミに頼るしかないと「信頼を裏切らないよう確実に間違えない製品作りに真摯に取り組む、お客様にお届けすることが黒田ブランドとしての考え方です」と話してくれました。

商工振興課商工振興班 内線3243